

平成15年10月 6日

報道機関 各位

広島大学総務部大学情報室長
西田良一

広島大学「ジュニア科学塾」を10月11日に開塾します

(科学わくわくプロジェクトの第2弾)

広島大学では、「ジュニア科学塾」を、来たる10月11日(土)から広島大学 東広島キャンパスで開催します。

この「ジュニア科学塾」は、理科離れに対して地域の科学教育を進めようと、マツダ財団と連携して今年から開始する「科学わくわくプロジェクト(わくプロ)」の一環であり、8月に開催した「サイエンスレクチャー」に続く第2弾です。

少人数の中学生を対象に、広島大学の教授が4回シリーズで光をテーマに密接な指導をしようというものです。ぜひ取材していただきますようご案内します。

1. 日 時: 平成15年10月11日(土)午前10時半から開塾式
引き続きジュニア科学塾を開塾し、午後4時終了予定
10,11月の第2,4土曜日(10/11,10/25,11/8,11/22)の計4回開催。
2. 場 所: 広島大学東広島キャンパス
開塾式及び午前の部:理学部E002教室
午後の部:教育学部C320教室
3. 参加者: 中学生約22人
4. 講 師: 広島大学大学院理学研究科 大杉節 教授(宇宙・素粒子科学講座)
5. テーマ: 「光」を研究しよう
 - (1) どうしたら光を捕まえることができるだろう?
→ 透明と不透明は何が違う? 光で見えないものを見る?
 - (2) 光はどこから出ているのだろう?
→ 光を出しているものは何? 温度と色と光の関係は?
 - (3) 光はどうして伝わるのだろう?
→ 音と光は何が違う? 光の反射や屈折はどういうこと?
 - (4) 光とはいったいなんだろう? 光は物質の支配者? 生命の源?

→光は宇宙を理解するキーワード！宇宙の誕生を考えよう！

【お問い合わせ先】

広島大学

科学わくわくプロジェクト研究センター

橋本康男(大学情報サービス室 助教授)

TEL: (0824)24-6135

(ダイヤルイン)

e-mail: wakupro@hiroshima-u.ac.jp

[発信枚数: A4版 3枚(本票含む)]

・[ジュニア科学塾プログラム](#) ・[わくプロについて](#)

ジュニア科学塾プログラム(予定)

第1日目 平成15年10月11日(土)

10:30 (理学部E002教室)

開塾式

・広島大学科学わくわくプロジェクト研究センター代表挨拶

(大学院教育学研究科 林 武広 教授)

・マツダ財団挨拶(慶徳事務局長)

・科学塾塾長挨拶(大学院理学研究科 大杉 節 教授)

11:00 (理学部E017教室)

講義:光の基礎知識

12:00 昼食(北第1学生食堂で講師等と一緒に食事)

13:00 (教育学部C320)

実験1:光の検出(光を捕まえよう)

16:00 終了

第2日目 平成15年10月25日

10:30 (教育学部C320)

実験2:光の発生(光を作ろう)

12:00 昼食(西第2学生食堂で講師等と一緒に食事)

13:00 (理学部E102教室集合)

ノーベル賞受賞者白川英樹博士講演会参加(サタケメモリアルホール)

16:00 終了

第3日目 平成15年11月8日(土)

10:30 (教育学部C320)

実験3:光の伝播・速度測定(光の伝わり方と速さを調べよう)

12:00 昼食(学生食堂で講師等と一緒に食事)

13:00 (教育学部C320)

実験4:光の伝播・速度測定(光の伝わり方と速さを調べよう)ー続き

16:00 終了

第4日目 平成15年11月22日(土)

10:30 (教育学部C320)

実験5:光の干渉(光の干渉を調べよう)

12:00 昼食(学生食堂で講師等と一緒に食事)

13:00 施設見学:放射光科学研究センター(予定)

14:00 (理学部E017)

まとめ, 討論:光とは何だろう

15:45 (理学部E002教室)

閉塾式

16:00 終了

※内容及び会場は変更することがあります。

「科学わくわくプロジェクト(わくプロ)」について

1 概要

わくプロは、広島大学とマツダ財団が連携して、子どもに科学にわくわくする機会を提供するために行う複合的な事業をパッケージしたプロジェクトです。

URL: <http://home.hiroshima-u.ac.jp/wakupro/>

2 プロジェクトの概要

(1)サイエンスレクチャー

科学の楽しさ・奥深さを面白く解説します。主に中学生が対象です。平成15年度は、8月8日(金)に広島市こども文化科学館アポロホールで、広島大学牟田学長を中心に、宇宙をテーマとして開催しました。

(2)科学塾

20人程度の中高生を対象に、大学教員が一つのテーマを4回連続で指導します。広島大学の施設と設備を使った高度で密接な指導が特徴です。中学生を対象としたジュニア科学塾と高校生を対象とした科学塾(16年度から)とがあります。

(3)小学校理科教育情報ネットワーク

科学教育ネットワークの一環として、まず小学校の先生方の理科教育を支援する小学校理科教育情報ネットワークを開始します。小学校での理科指導における実験のノウハウを提供し、情報を交換します。(年内開始予定)

(4)科学体験事業の支援

平成16年度から、民間団体が行う科学体験事業について共同開発などの支援を開始する予定です。

3 わくプロの特徴

わくプロは、マツダ財団と広島大学が連携して取り組むプロジェクトであり、次のような特徴がある全国でも珍しい取り組みです。

(1)民間主体の子どもの科学教育への取り組み

民間主体の事業としての特性を生かし、意欲ある子どもたちを対象として学校外で自由に取り組むこと。

(2)民間財団と国立大学との連携

青少年の健全育成と科学技術の振興をめざす民間財団と国立大学との連携プロジェクトであること。

(3)広島大学の学部横断的協力

学内の研究者が学部横断的に協力するプロジェクトであること。(社会連携の窓口の大学情報サービス室を設置した広島大学ならではの)

(4)複合パッケージ事業

サイエンスレクチャー, 科学塾などによる複合的プロジェクトであること。

(5) 幼稚園から大学までの教員等と一緒に議論

大学教員と幼小中高校の教員, 科学館関係者などの議論から生まれたこと。

